

第51次南極観測夏隊ドーム旅行報告

本山秀明(国立極地研究所)

51次夏隊

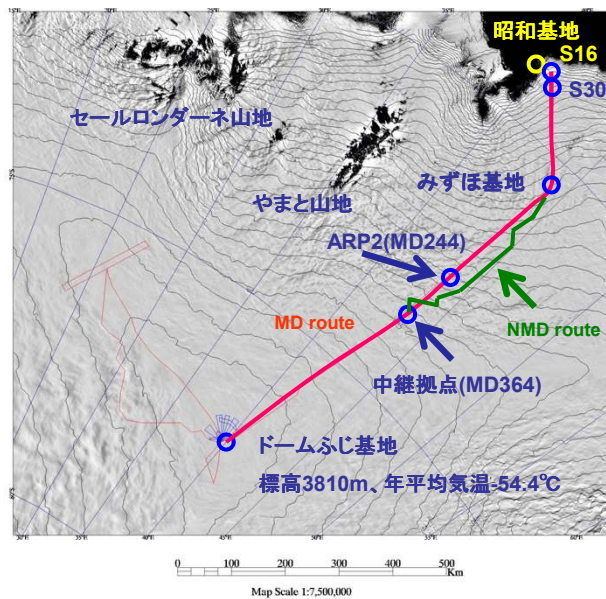
本山秀明(極地研)、平林幹啓(極地研)、西村大輔(北大低温研)
瀬田益道(筑波大、天文)、Chung JiWoong(韓国極地研)

50次越冬隊

樋口和生(FA)、木塚孝廣(機械)、森川健太郎(医療)

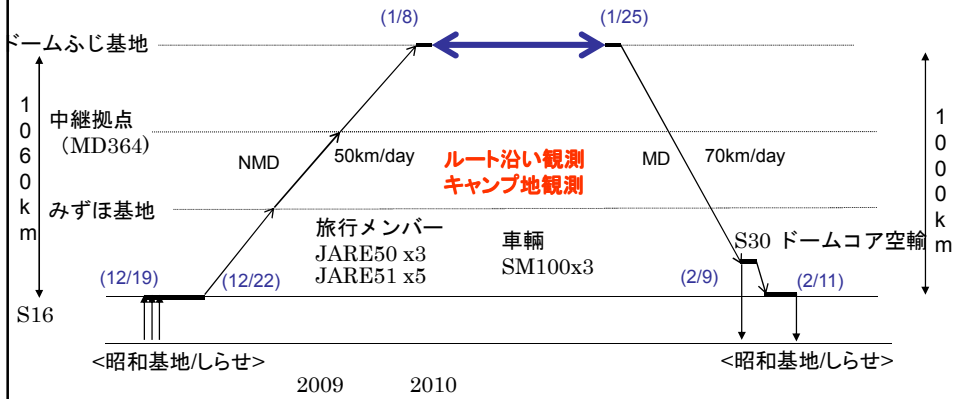


内陸ルート図



第51次夏期内陸旅行経過

浅層掘削、フィルンエアースAMPLING、積雪ピット観測
 雪氷・気象観測、天文観測サイトサーベイ、表面積雪サンプリング
 深層コアソリ積み、燃料ドラムデポ、基地点検、車輛点検整備



実行計画

一般プロジェクト研究観測:

「氷床内陸域から探る気候・氷床変動システムの解明と新たな手法の導入」

気水圏変動モニタリング研究観測:「氷床動態観測」

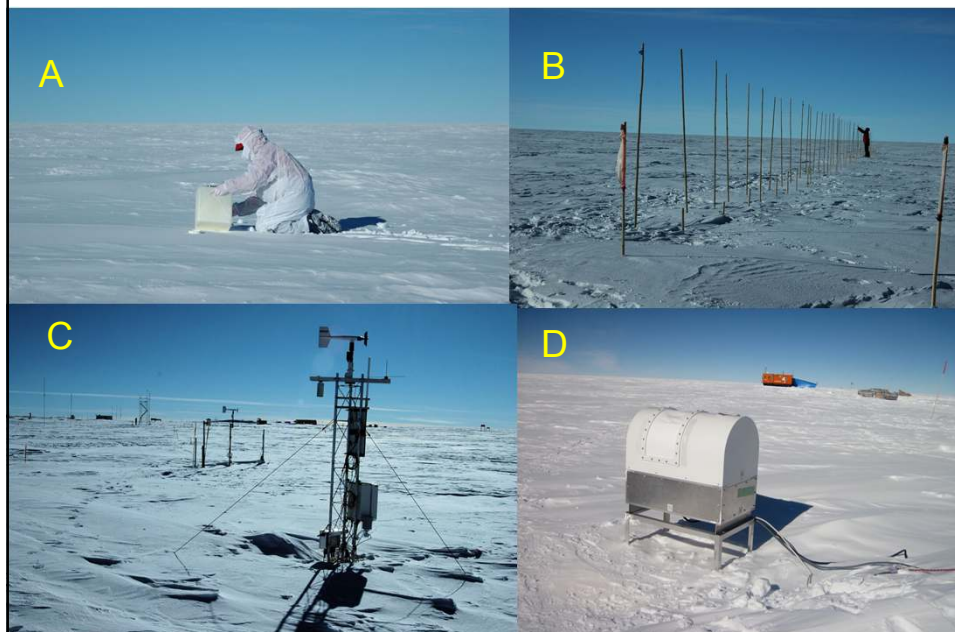
公開利用研究:「南極天文学開拓のための基礎調査」

浅層掘削(A,B,D)、フィルンエアースAMPLING(C)(ドームふじ基地から南へ10km地点)

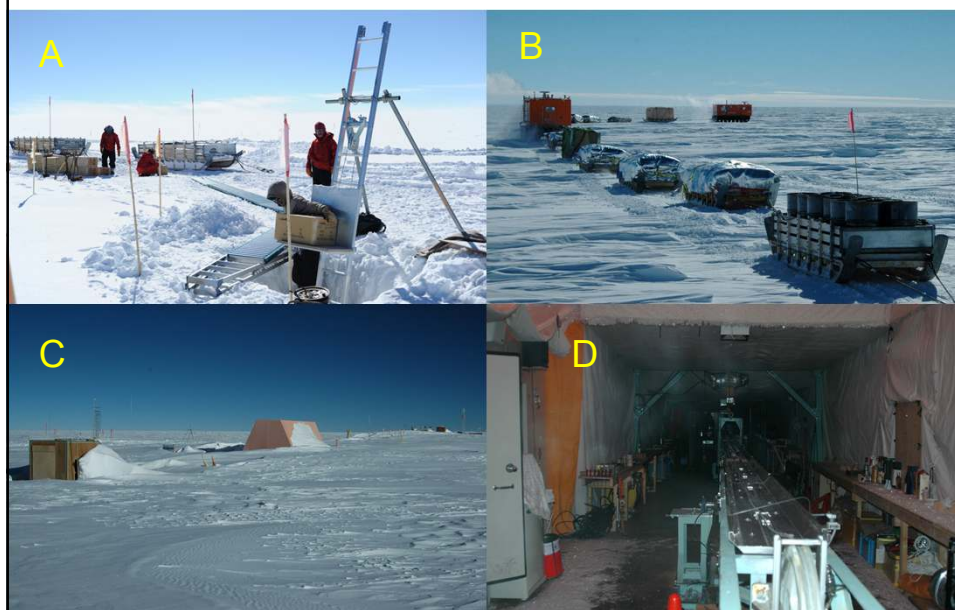
122m→ドリルスタック



観測: 雪採取(A)、雪尺観測(B)、無人気象観測(C)、ラジオメータ(天文、D)



ドームふじ基地: 氷床コア回収(A)・輸送(B)、掘削場(外(C)と中(D))

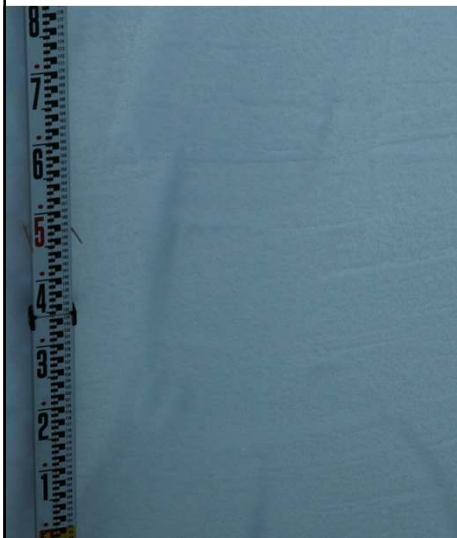


2m-pit near Dome Fuji Station



60cm深

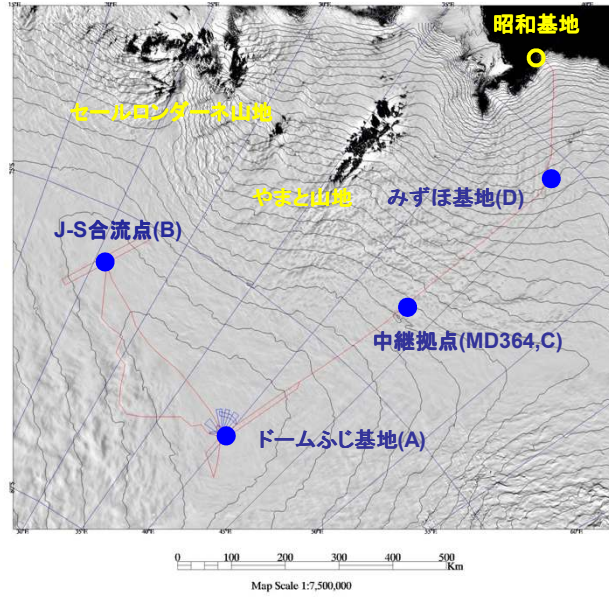
120cm深



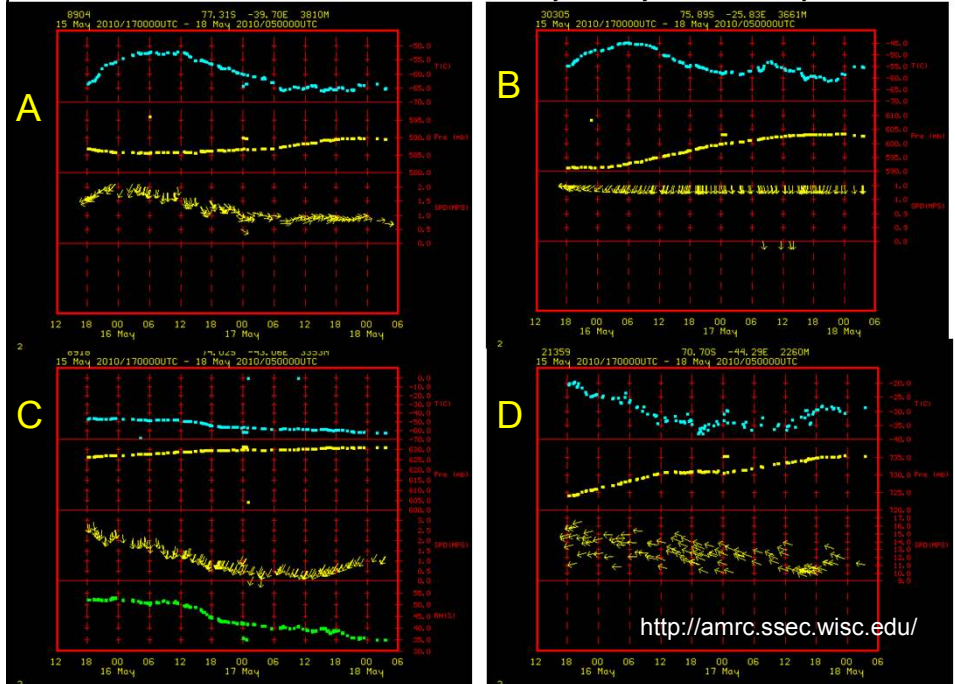
140cm深

220cm深

無人気象観測 (AWS、アルゴス方式)



公開AWSデータ: 2010年5月16日-18日 A: Dome Fuji, B: J-S joint P, C: Relay P, D: Mizuho



公開AWSデータ: 2010年9月24日-26日 A: Dome Fuji, B: J-S joint P, C: Relay P, D. Mizuho

